

提 供 日 2022/3/25 (金)

タイトル 県内初・内視鏡手術支援ロボットによる、すい臓疾患
手術を始めます

担 当 県立総合病院 総務課

連 絡 先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～とともにつくる 信頼と安心の医療～

内視鏡手術支援ロボットによる、すい臓疾患の手術を始めます ～静岡県内初の手術の取組開始～

1 要旨

令和4年3月より当院消化器外科において、内視鏡手術支援ロボットを用いた腹腔鏡下膵体尾部切除術を県内で初めて保険診療として開始します。このことにより、低侵襲の手術で従前と比較して短い期間での退院が可能となります。

2 治療適応 低悪性度膵腫瘍

3 腹腔鏡手術、ロボット支援手術とは

腹腔鏡手術は腹腔内（おなかのなか）をガスで膨らませて、数カ所のキズ（5～12mm）から器具を出し入れする筒を挿入し、そこからカメラ（腹腔鏡）や鉗子を挿入し、術者はテレビのモニターを見て、器械を操作して行う手術です。

従来の腹腔鏡下手術では、棒のような曲がらない道具を入れて行うため、どうしても動作制限がありました。その点、ロボット支援下手術では3D画像、手術道具の多関節機能、手ぶれ防止機能などがあるため従来の内視鏡手術と比較してより精彩で複雑な手術が可能となります。

4 腹腔鏡下膵体尾部切除術、ロボット支援下膵体尾部切除術について

膵体尾部切除術の際には、すい臓の体部と尾部（すい臓の左側約1/2）を場合により脾臓とともに切除しますが、お腹の左上奥の方での手術操作が必要なため、開腹手術では大きくお腹を切開する必要があります。通常、術後2～3週間の入院が必要です。

一方、ロボット支援下膵体尾部切除では、キズは腹腔鏡下膵体尾部切除術と変わりませんが、ロボットの長所を生かしてより安全に手術を行うことができます。

5 利点と欠点

腹腔鏡下膵体尾部切除、ロボット支援膵体尾部切除のいずれも術後の痛みは軽く、キズが目立たないなどの利点があり、術後7日～10日程度で退院可能です。ただし、ロボットのセットなどの作業があり手術時間がやや長くなります。

今後はより複雑な膵頭十二指腸切除に適応を広げていく予定です。

(問合先) 静岡県立総合病院 総務課

静岡市葵区北安東4-27-1

電話：054-247-6111 (代)